

# 第46回（平成29年度）全国豆類経営改善共励会 受賞者の概要

## 【農林水産大臣賞（大豆経営の部）】

てらさき としひろ  
寺崎 俊弘 氏（富山県黒部市）

（経営の概要）

品種名	作付面積 (ha)	29年単収 (kg/10a)	労働時間 (hr/10a)	費用合計 (円/60kg)	品質(1,2等比率) (%)
エンレイ シュウレイ	13.8	255 (155)	6.7	12,688	31.9

注：単収の括弧書きの数值は、富山県の29年平均単収

（活動の概要）

寺崎氏は富山県黒部市で農地約50haを経営しており、水稻を主体に大豆と小麦を取り入れた作付をしている。

排水性を確保した省力的な栽培方法を、地域でいち早く導入した。また、除草剤の適期散布によって雑草の繁茂を防ぎ、大豆生育を確保し、施肥・播種量の調整などの技術改善によって、平均を上回る単収を達成した。

培土作業を省く栽培方法や水稻、小麦との農業機械の汎用利用によって、労働時間・生産コストを削減しており、大豆生産は安定した経営基盤として確立している。

## 【農林水産省政策統括官賞（大豆集団の部）】

おうじがわちくせいさんくみあい  
王寺川地区生産組合（新潟県長岡市）

（経営の概要）

品種名	作付面積 (ha)	29年単収 (kg/10a)	労働時間 (hr/10a)	費用合計 (円/60kg)	品質(1,2等比率) (%)
エンレイ	25.4	258 (181)	4.5	12,718	42.1

注：単収の括弧書きの数值は、新潟県の29年平均単収

（活動の概要）

王寺川地区生産組合は、米の生産調整による米価の安定と個々の経営発展を図ることを目的として、平成18年に設立された。

地域の大豆生産を一手に引き受けることで地域の生産調整の目標達成に貢献している。

重粘土質のほ場における碎土率の確保と湿害回避に効果のある播種技術を導入し、播種作業時には播種ムラの無いように確認をしている。

また、新潟県で品質低下の最大の要因となっているしわ粒対策や、雑草対策によって茎葉汁による汚損を防止し、品質の低下を防ぐことで、高収量・高品質な大豆生産につながっている。